「メンター研修」を中心とした、若手教員の育成を目指す短時間で行う校内研修の事例

|  |
| --- |
| 研修名：主体的な学びを生み出す「自己評価」の研修 |

|  |
| --- |
| 目　的：児童生徒の主体的な学びを生み出すために必要な自己評価の在り方について学ぶ |

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 学校種 | 小・中学校 | 研修時間 | 30分 |
| 対　象 | （メンティ）：主体的な学びを生み出す「自己評価」について理解を深めたいと考える若手教員（メンター）：若手教員の指導に意欲のある先輩教員及び研修を担当している教員 |
| 配付物 | ・上川教育研修センター作成「(1)主体的な学び②振り返り」の資料・ワークシート |

■　展開

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 時　間 | 主　な　内　容 | 備　考 |
| ２分３分５分15分５分 | １　オリエンテーション　　ミニ研修の目的を確認する。２　交流「日頃の自己評価について」　　日頃、各教科の振り返りの時間に、どのような自己評価を行わせているのかを交流し、自己評価の在り方の問題点を探る。３　説明「自己評価を行う際の視点」　　上川教育研修センターの資料を配付し、以下の２点について確認する。(1) 学びの成果の振り返りでは、何を理解し、何ができるようになったのかを評価する。（４段階等で評価）(2) 解決の過程の振り返りでは、自分が学びの成果を得るに至った過程を評価する。（主に記述）など４　演習「明日行う授業の自己評価の想定」　＜個人（９分）＞(1) 自分が明日行う授業で、児童にどのような内容で自己評価をさせるのか、また、どのようなことが書けていればよいのかについて、ワークシートに記入する。

|  |
| --- |
| ワークシート |
| 学びの成果 | 4段階で評価する項目（例：情景描写とその方法について理解できたか？） |
| 解決の過程 | 解決の過程を振り返る自己評価の観点（例：今日の授業で心に残った発表や考えを書こう） |
| 理想の評価（児童生徒が書けていればよい内容） |

　＜グループ（６分）＞(2) 作成した評価項目を交流し、参考になる点や改善点などを話し合う。５　まとめ(1) 主体的な学びへとつなげるため、次の３点の重要性を説明する。　　ア　自己評価する時間の確保　　イ　自己評価項目の質的向上　　ウ　単元における自己評価（記述等）の蓄積による学びの成果及び解決の過程の検証(2) メンターの体験談を踏まえ、明日からすぐに「自己評価」に取り組もうとする意欲を高める説明をし、研修のまとめとする。 | ※上川教育研修センターの資料配付※ワークシートの配付（上川研修センターの資料の「自校評価の例【研究員の授業実践から】」を参考に説明する） |

|  |  |
| --- | --- |
| 期待される成果 | 児童生徒に主体的な学びを促すには、日々の振り返りの中で「自己評価」を確実に位置付けるとともに、振り返る学習活動の質的向上を目指すことが大切であることから、説明や演習を通して「自己評価の在り方」を理解させることにより、学習過程を意識して日々の授業を行うことのできる教員の育成へとつなげる効果が期待できる。 |